



淡路日の出農業協同組合

〒656-2131 兵庫県淡路市志筑 3112-14
TEL : 0799-62-6200
<https://www.ja-awajihinode.com>



ひのりん



「いちひめ」ちゃん



「淡春ナナ」ちゃん



あわりん

お問合せはJA淡路日の出 経済センターまで

統括経済センター	TEL: 62-6200	北淡経済センター	TEL: 82-1235
洲本経済センター	TEL: 22-1122	一宮経済センター	TEL: 85-0180
津名経済センター	TEL: 64-0020	五色経済センター	TEL: 35-0221
東浦淡路経済センター	TEL: 74-3321		

第4次自己改革プログラム

【令和8年度～令和10年度】

「地域とともに、未来につなぐ農業の創生」を基本方針とし4つの取り組み項目を軸に活動します

JA淡路日の出では、農業者ニーズに応え、担い手をサポートし、農業者や地域住民と一体になって「地域とともに、未来につなぐ農業の創生」の実現に向けて取り組みます。そのために、「先端農業技術の導入・活用」「農畜産物の生産・販売力強化」「JA経済基盤確立と強化」「KPI(重要業績評価指数)設定」の4つを取り組み項目とした自己改革を策定しました。

この目標を達成するためJAは、自主・自立の協同組合であることを鮮明にし、組合員の意思に基づいて、積極的に新たな事業展開に取り組みます。

地域とともに、未来につなぐ農業の創生

基本目標

- (1)先端農業技術の導入・活用
- (2)農畜産物の生産・販売力強化
- (3)JA経済基盤確立と強化
- (4)KPI(重要業績評価指数)設定



ひのりん



あわりん



JA淡路日の出 第4次自己改革プログラム

基本方針	取り組み項目	具体的な取り組み項目	実施事項	令和8年度	令和9年度	令和10年度
地域とともに、未来につなぐ農業の創生	(1) 先端農業技術の導入・活用	①地域農業維持に向けた支援	1) 防除・施肥等の労働力軽減に向けた農業用ドローンの活用	・農業用ドローン活用に向けた実施計画検討	・農業用ドローンの活用実施要領作成 ・試験散布実施	・水稻防除剤・野菜基肥等の散布受託作業開始
			2) 農地保全を担う農地保全作業受託の拡充	・ラジコン草刈機作業受託面積 50ha ・ラジコン草刈機の導入1台 計3台	・ラジコン草刈機作業受託面積 55ha ・フレールモアー作業受託	・ラジコン草刈機作業受託面積 60ha ・保全全般の作業受託
			3) 作業効率改善による栽培拡大を目指したレンタル農機の充実	・玉葱収穫機械 増台 ・野菜移植機械 増台	・農地管理機械 増台 ・玉葱定植機械 更新	・玉葱関係機械 更新 ・利用状況分析による保有内容の検討
	②デジタル技術の活用	1) 組合員情報提供サービスの活用	・普及推進率 25% ・ネット予約購買試験実施 ・デジタルブック掲載	・普及推進率 50% ・各種情報提供開始 ・チャット機能開始	・普及推進率 70% ・ネット予約購買実施 ・購買バーコード活用	
		③牛舎内環境の改善提案	1) 暑熱対策として大型送風機の推進	・動力電源式大型扇風機の導入推進 20台	・動力電源式大型扇風機の導入推進 20台	・動力電源式大型扇風機の導入推進 15台
		(2) 農畜産物の生産・販売力強化	①水稻高温耐性品種の導入	1) 「キヌヒカリ」より「コ・ノ・ホ・シ」への品種転換	・研修会の開催 2回 ・「コ・ノ・ホ・シ」100ha ・「キヌヒカリ」600ha	・研修会開催 3回 ・「コ・ノ・ホ・シ」300ha ・育苗センター販売開始
	2) JAによる「コ・ノ・ホ・シ」の販売			・御食菜彩館で販売開始(3kg・5kg・10kg) ・店舗・広報誌等でPR実施	・JA淡路日の出で販売開始(5kg・10kg) ・ホームページでPR実施	・JA淡路日の出でのネット販売
	3) 「ヒノヒカリ」代替品種導入に向けた取り組み			・管内での選択試験栽培 ・広報誌で経過報告	・管内での最終試験栽培 ・広報誌で成績報告	・代替品種のデビュー ・新品种の商品名決定 ・普及推進計画作成
	②淡路島たまねぎの販売強化	1) 「淡の春」価格向上に向けた新たな販売手法の提案	・販売協力店 10店舗 ・店頭販売 5店舗 ・店舗訪問 1店舗	・販売協力店 15店舗 ・店頭販売 8店舗 ・店舗訪問 3店舗	・販売協力店 20店舗 ・店頭販売 10店舗 ・店舗訪問 5店舗	
		2) 周年販売に向けた販売促進活動	・販売促進資材作成 ・市場巡回 2回 ・店舗巡回 2回	・消費者との交流活動計画 ・市場巡回 3回 ・店舗巡回 3回	・消費者との交流活動実施 ・市場巡回 2回 ・店舗巡回 4回	
	③和子牛の販路強化	1) 淡路家畜市場とのタイアップによる購買者訪問	・年2回の同行訪問	・年2回の同行訪問	・年2回の同行訪問	
	(3) JA経済基盤確立と強化	①農業施設の効率化	1) ライスセンターの集約化	・洲本・五色ライスセンターの集約計画	・洲本・五色ライスセンターの集約 ・ライスセンターへの色彩選別機導入	・洲本・五色集約ライスセンターの稼働
			2) 青果物集荷施設老朽化による更新準備	・野菜真空予冷施設の集約更新を検討	・野菜真空予冷施設の集約更新実施計画作成	・野菜真空予冷施設の集約更新実施
			3) 施設の再編、運営方法の見直しに向けた検討会議設置	・集約可能施設および有効活用可能施設の洗い出し ・施設検討委員会開催 2回	・施設集約・有効活用実施方針作成 ・施設検討委員会開催 2回	・施設集約・有効活用実施方針提出 ・施設検討委員会開催 2回
	(4) KPI(重要業績評価指数)設定	①集荷米の1等比率	1) 「キヌヒカリ」から「コ・ノ・ホ・シ」への転換推進による1等米比率の向上	・全体 1等比率 10%	・全体 1等比率 20% ・育苗センター「キヌヒカリ」を「コ・ノ・ホ・シ」に全面切り替え	・全体 1等比率 30%
2) ライスセンターへの色彩選別機導入による1等米比率の向上			・ライスセンターへの色彩選別機導入計画 ・1等比率 10%	・ライスセンターへの色彩選別機導入 ・1等比率 80%	・ライスセンターへの色彩選別機導入 ・1等比率 90%	
②米の集荷数量		1) 出荷契約時のメリットの提示による集荷数量の増袋	・集荷数量 57,500袋 (内 ライスセンター 11,000袋)	・集荷数量 60,000袋 (内 ライスセンター 12,000袋)	・集荷数量 65,000袋 (内 ライスセンター 14,000袋)	
③淡路島たまねぎ出荷量		1) 生産者に合った多様な出荷形態の推進	・総量出荷量(4,600t) ・共撰(2,500t) ・個撰(2,100t) ・出荷形態:冷蔵・つる付・定数詰	・総量出荷量(5,000t) ・共撰(3,000t) ・個撰(2,000t) ・出荷形態:冷蔵・つる付・定数詰	・総量出荷量(5,500t) ・共撰(3,500t) ・個撰(2,000t) ・出荷形態:冷蔵・つる付・定数詰	
④たまねぎ共撰出荷量		1) 根葉付出荷の確保と精算間隔の短縮	・根葉付たまねぎ出荷量 1,000t ・精算期間 平均20日	・根葉付たまねぎ出荷量 1,100t ・精算期間 平均18日	・根葉付たまねぎ出荷量 1,200t ・精算期間 平均15日	
⑤和子牛出荷頭数		1) 行政とタイアップした保留・増頭対策の実施	・出荷頭数減少率5%未満に抑制	・出荷頭数減少率5%未満に抑制	・出荷頭数減少率5%未満に抑制	